

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	社会福祉法人春秋福祉会 なかよし保育園	施設 種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

令和 2 年 1 0 月 2 8 日

総 評	<p>宇治市東部黄檗の丘陵地に位置する「なかよし保育園」は、昭和47年に設立され、平成22年には分園「あいあい」が開設されました。「子ども一人一人の人格を尊重し、子どもにとって最善の利益に配慮しながら、その福祉の増進に努め心身共に健やかに育む」を保育理念に、一人一人の子どもの個性を大切に、保育に取り組んでいます。分園では、子育て支援センターや一時預かりも行っており、保護者や地域の方も安心して子育てができるよう支援しています。</p> <p>広々とした園庭には、実が鈴なりに生っている柿やキウイの木、クヌギの木、藤棚など、自然に恵まれた環境のなかで、子どもたちは自発的に遊びを見つけ、伸び伸びと楽しそうに遊んでいます。また、園庭で育った果物や野菜などを昼食やおやつに提供するなど、食育にも力を入れています。</p> <p>保育の質の向上のために、職員が担任以外のクラスの保育に参加し、保育を共有し合う「保育参加」の取り組みをしています。主任が年間スケジュールを決め、無理のないように回数などを工夫しています。ベテランがアドバイスのために入ったり、経験年数豊富な職員の資源を有効に活用しています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の質の向上のために、職員が違うクラスの保育に参加して保育を共有し合う「保育参加」の取り組みをしています。主任が年間スケジュールを立て、職員が主体的に取り組んでいます。 ・全体的な計画に基づき指導計画が策定され、評価反省が行われています。「乳児会議」や「幼児会議」での話し合いを定期的に取り入れ、年度末の「総括会議」では、指導計画の見直しも行っています。 ・子どもたちが野菜を育てることで食材に興味を持ったり、重陽の節句の菊花和えや栗ごはんなどの行事食など、子どもが食文化に関心を持つ取り組みに力を入れています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントの体制を整え、責任者の明確化、委員会の設置をされると良いでしょう。 ・今後は、健康管理に関するマニュアルや「保健計画」「食育計画」を整備されるとさらに良いでしょう。 ・保育について標準的な実施方法についての文章化は確認されませんでした。今後の課題として取り組まれるとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	社会福祉法人春秋福祉会 なかよし保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	令和2年10月28日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	b
[自由記述欄]					
・理念や方針は園のしおりに記載しており、玄関にも掲示するなど、保護者への周知を図っています。(通番1)					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	b
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	b
[自由記述欄]					
・園長は、利用者が各地域に分散されているなど、データを把握し分析を行っています。今後は、保育のコスト分析や利用者の推移なども分析されるとな良いでしょう。(通番2)					
・園長は、少子化による利用者の減少や財務面では修繕費の増加など経営課題を把握しています。今後は、経営課題について職員に周知し、具体的な取り組みを進められるとさらに良いでしょう。(通番3)					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	c
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	c
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	b
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	b
[自由記述欄]					
・中・長期の事業計画・収支計画は策定されていませんでした。(通番4・5) 今後の課題として取り組まれると良いでしょう。					
・単年度の事業計画は毎年決められた手順で策定されています。今後は、事業計画の内容を見直し、職員への周知が図られるとさらに良いでしょう。(通番6)					
・保護者に向けては、年度初めの保護者会において修繕計画などを説明しています。今後は、重点課題などを保護者にわかりやすく説明されるとさらに良いでしょう。(通番7)					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	b
[自由記述欄]					
・園全体の自己評価については、年に1回全職員が園で作成した「総括シート」において評価を行っています。その結果を園長や主任がまとめ、新年度の課題として職員に周知しています。(通番8・9)					

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	a
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	b
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	a

[自由記述欄]

・園長は、自らの役割と責任を「運営規程」に記載しており、園長や主任の不在時の権限委任についても、危機管理マニュアルの中に記載し、職員への周知を行っています。(通番10)

・法令順守のための取り組みについては、保育協会や宇治市園長会の研修やリスクマネジメント巡回相談、経営コンサルタントによるセミナーなどに参加しています。環境保護にも力を入れており、ゴミを減らすための取り組みや、園内のごみの分別を園児と共にしています。(通番11)

・保育の質の向上のために、職員が違うクラスの保育に参加し保育を共有し合う「保育参加」の取り組みをしています。主任が年間スケジュールを決め、無理のないように回数などを工夫しています。ベテランがアドバイスのために入ったり、新人の育成のために担当外のクラスを経験することもあります。(通番12)

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	b
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	b
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	a

[自由記述欄]

・人材の確保については、担任編成などで新人育成のためにベテランを配置したりなど工夫をしています。現在、「きょうと福祉人材育成認証制度」の認証に向けて取り組み中ということですので、今後は人材の確保・育成のための計画やキャリアパスを策定されるとなおいでしょう。(通番14・15)

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	b
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	b
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	b
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	a

[自由記述欄]

・保育の質の向上のため、京都府保育協会主催の研修やその他の案内も職員に周知を行い、本人の希望やキャリアアップ分野に応じて、研修に参加しています。今後は、OJTを含めた園オリジナルの「研修計画」が整備されるとなおいでしょう。(通番18・19)

・保育実習については、「保育実習マニュアル」が整備されており、クラスごとの職員が作成した「実習指示書」をもとに保育実習が行われています。担当職員が保育実習に関する研修に参加し、それを全職員に周知を行っています。(通番20)

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅱ-3 運営の透明性の確保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	b
		22	②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	b
[自由記述欄]						
<p>・園のホームページにおいて、保護者が園を選択する上で必要な情報や、決算書など情報公開が義務付けられている情報を公開しています。苦情受付体制も整備しており、保護者の声BOXを配置するなど保護者が園に要望を伝えやすい環境作りを行っています。今後は、地域に向けての情報発信に取り組まれるとなお良いでしょう。(通番21)</p>						

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	b
		24	②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a
	25	①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	b	
	26	①	保育所が有する機能を地域に還元している。	a	a	
	27	②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	b	
[自由記述欄]						
<p>・地域との関わり、催しに参加し、交流をはかっています。「羽戸山まつり」では、手遊びや歌等を年長児が披露する等の機会や取り組みをしています。地域との関わり方について文章化されるとなお良いでしょう。(通番23)</p> <p>・日常の緊急時に利用する医療機関を「菜」にも記載し、周知しています。園の関係機関の連絡方法等については、職員間での共有は特に図られていないとのことでしたので、必要に応じて職員が活用できると良いでしょう。(通番25)</p> <p>・分園に子育て支援センター「あいあい」を併設し、情報提供の場としても活用しています。「なかよしひろば」で月一回の親子であそぼうや乳幼児相談が行われ、本園でも月一回園庭開放をしています。今後は園独自の公益的な事業・活動に取り組まれるとなお良いでしょう。(通番26・27)</p>						

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	b
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	b
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	b
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	b
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	b

[自由記述欄]

・ 葉に「全国保育士会倫理綱領」を記載し、子どもを尊重した保育への共通理解を園内研修で行う等取り組んでいます。子どもの尊重や基本的人権への配慮について、チェックリスト等を用いて更なる共通理解につなげられると良いでしょう。(通番28)

・ 虐待防止に関するマニュアル作成、整備に取り組み、職員との周知をされると良いでしょう。(通番29)

・ 利用希望者の予定になるべく合わせ、随時見学者の受け入れをしています。パンフレットを用いて情報提供が行われていますが、更に多くの人が情報を得られるよう広がりや工夫をされると更に良いでしょう。(通番30)

・ 重要事項説明文を葉に取り入れ、入園児の説明会で伝えていますが、保護者の同意を書面で得ることができるとなお良いでしょう。(通番31)

・ 保育の継続性に配慮し、転園時には引継ぎ用紙を作成し送付しています。保育園の利用が終了した時も相談方法等、子どもや保護者に説明と文章で伝えておくとうるに良いでしょう。(通番32)

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	a
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	b

[自由記述欄]

・ 苦情解決の体制を整備し、周知・機能しています。(通番33)

・ 葉に困りごと、相談制度の文面を記載しています。連絡帳、クラス懇談、個人懇談等で保護者の意見や相談の呼びかけも行き、担任から主任、園長へと対応しています。対応マニュアル等を整備し、定期的に見直しもされるとなお良いでしょう。(通番34・35)

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	b
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	b
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	b

[自由記述欄]

・安全確保、事故防止に関する研修を園で受ける等意識されています。リスクマネジメント体制を整備し、委員会の設置をされるとなおいでしょう。(通番36)

・「保育園生活における感染症への対応マニュアル」「衛生管理マニュアル」を整備し、感染予防についても各クラス等に貼っています。感染症が発生した際は保護者に注意呼びかけも行っていきます。(通番37)

・「危機管理マニュアル」を作成しています。避難訓練は毎月一回行われ、花火など火を取り扱うことも多い夏に消防署に来てもらう取り組みも行っていきます。(通番38)

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	b
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	c
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	a
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	a
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	a

[自由記述欄]

・標準的な実施方法についての文章化は確認されませんでした。今後の課題に取り組みられると良いでしょう。(通番40・41)

・指導計画を策定し、評価、反省が行われています。「乳児会議」「幼児会議」での話し合いを定期的に取り入れ、年一回「総括会議」では、指導計画の見直しも行っていきます。(通番42)

・プライバシー保護について葉に記載し、保護者に周知しています。記録は事務所に保管されていますが、職員同士での取り扱いについては口頭よりも文章に残しておくことに良いでしょう。(通番45)

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	a
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	a
		48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a

[自由記述欄]

- ・全体的な計画は職員全体で見直し、年度末に保護者の意向や行事後のアンケートの意見も取り込んで、来年度の検討をしています。(通番46)
- ・職員は、一人一人の子どもたちに温かく愛情を持ってやさしく言葉掛けをし、子どもの気持ちをくみとりながら穏やかに接する姿が見られます。(通番48)
- ・園庭には大きなクヌギの木があり、また柿やキウイが鈴なりになっているような自然環境に恵まれたなかで、子どもたちは自発的に遊びを見つけ、伸び伸びと楽しそうに遊んでいます。園内には、自然物を使った作品や子どもの描いた絵などが掲示され、様々な表現活動が自由に体験できるような環境になっています。(通番50)

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a

[自由記述欄]

- ・玄関にドキュメンテーションを掲示したり、連絡帳を通して保護者へ日々の子どもの様子を伝えています。また、年に2回の個人懇談やクラス懇談、お誕生会への参加など、保護者と連携した取り組みを行っています。
- ・支援の必要とする子どもには、毎月個別支援計画を作成して計画的に保育を行っています。また、保護者には子ども一人一人の個性を大切に見守りながら、どの子どもも心身共に健やかに育てていきたいことを伝えています。(通番54)
- ・延長保育時間の保育については、会議などでの話し合いを通して計画しています。今後は、延長保育時の環境構成や援助などを月案などにも記入されるとさらに良いでしょう。(通番55)

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	b
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	b
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

[自由記述欄]

- ・健康記録ノートにて一人一人の健診結果等を保護者に知らせるなど、ほけんだより等で健康に関する取り組みを保護者に伝えています。今後は、健康管理に関するマニュアルや保健計画を整備されるとさらに良いでしょう。(通番57・58)
- ・SIDS観察は、乳児一人一人の睡眠時間に合わせて5分ごとに子どもの様子を確認し、記録しています。(通番59)
- ・食物アレルギー誤食時の対応が簡単に書かれた書類は確認しましたが、今後は役割分担なども少し詳しいものを作成し、それに沿って救急車要請などのシミュレーションを定期的実施されるとな良いでしょう。(通番60)
- ・子どもたちが野菜を育てることで食材に興味を持ったり、重陽の節句の菊花和えや栗ごはんなど子どもが食文化に関心を持つ工夫に力を入れています。(通番61)

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	a
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	b
	A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	a

[自由記述欄]

- ・年2回の個人懇談以外にも必要に応じて個人懇談を行ったり、近くにある分園で一時預かりや子育て支援事業を行ったり、保護者や地域の方も安心して子育てができるよう支援しています。(通番62)
- ・関係機関と連携を取りながら虐待の早期発見や予防に職員全体が努めていますが、マニュアルが整備されていませんでした。今後は今行っていることをマニュアル化し、誰もがわかるようにされるとな良いでしょう。(通番64)
- ・毎月の振り返りや年2回の自己評価を行っています。(通番65)